

アルティリー千葉と千葉大学病院が 医療支援で協定締結

千葉大学医学部附属病院（千葉市中央区：病院長 横手幸太郎）は、バスケットボールB3リーグに2021-22シーズンから新規参入するアルティリー千葉（ホームタウン：千葉県千葉市）と、医療支援に関する協定を締結し、選手のパフォーマンス向上に貢献します。

具体的には、Bリーグ規約に基づくメディカルチェック、受傷や発病などによる検査及び診療、日常的な健康管理指導、試合における医師の帯同などを行います。すでに一部の選手が2021年10月の開幕戦に向けてメディカルチェックを当院で行ったところ です。

当院では、これまでトップアスリートなどの医療支援で実績を持つスポーツメディクスセンターを中心に、病院を挙げてアルティリー千葉をバックアップしてまいります。



新居代表取締役CEO（写真左）と横手病院長



メディカルチェックを行う杉本慶選手

■新居佳英 株式会社アルティリー 代表取締役CEO のコメント

アルティリー千葉の目指すビジョンや、スポーツを通じた地域貢献の重要性に共感いただき、ご参画いただけることとなりました。ホームタウンである千葉市を代表する大学病院で、トップアスリートへの医療支援の実績や経験の豊富な千葉大学病院様にサポートして頂けることとなり、大変嬉しく、また光栄に思っております。千葉大学病院様と共に、今後も地域の皆様に応援いただけるクラブを創り上げられるよう取り組んで参ります。

■横手幸太郎 千葉大学病院 病院長のコメント

地元千葉市から「Bリーグ史上最速でのB1昇格、B1優勝」を目指すアルティリー千葉を、医療面で支援させていただくこととなり、大変光栄に思っております。病院としての協定締結とは別に、私自身も、ブースターとして応援させていただきたいと思っており、今後のご活躍をとて楽しみにしています。

<取材のお申込み・お問い合わせ先>

千葉大学病院 病院広報室

Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830 E-mail : byoin-koho@chiba-u.jp

8月3日 千葉大学医学部附属病院で行った協定締結式



調印を行う新居佳英(代表取締役CEO/写真左)と、横手幸太郎(千葉大学病院長)



千葉大学病院スポーツメデクスセンターの大鳥センター長(右端)らが行った集合写真

■ 千葉大学病院スポーツメデクスセンター /大鳥 精司 センター長 (整形外科教授)

2019年1月4日に発足。スポーツに関わりの深い外科系、内科系医師・看護師・事務職員により構成。スポーツイベントの開催にあたっては救護医療体制の整備などさまざまな課題があり、医療面から包括的に支援するため、病院内の多職種間および県内の医療機関などとの連携拠点として活動している。最近では、2020年7月に日本サッカー協会と高円宮記念JFA 夢フィールド(千葉市美浜区)における医療環境の確保を目的とした協定を締結している。